

けいでん
継伝とは～2つの役割～

1 後世への役立ち

これまで一般の方の足跡を残すツールといえば“自分史”。しかし、現在世の中に出回っている自分史というのは、ただ生い立ちを時系列に綴るものであり、それは著者とよほど身近な人で、しかも普段本を読み慣れている人でないとなかなか読むことが難しいものです。

人間の暮らしというのは過去の歴史や培われてきた文化、蓄積された知恵といった人々の足跡の上に成り立っているため、本来人それぞれの足跡を残すことはとても重要です。しかもそれは、少なからず似た考え方を持って生まれてきている親族間において、より意義を増すものなのです。

“継伝”は、これまでの“自分史”的概念とは異なり、後世にとって役立つ内容や道しるべとなりうる内容を、テーマ分け・スナップ写真の多用・子供でも読める字の大きさにする事によって、読み手にとって最大限読みやすく、且つ読みたくなる構成で仕立て、子孫に残すために製作する書物です。

制作実績

大田 大田鍛金塗装工場(有)・創業者／森野様
 社会保険労務士法人 田平労務管理事務所・創業者／田平様
 (有)山崎組／山崎様、森脇保険事務所・創業者／森脇様
 出雲 (有)井山屋製菓／坂根様
 江津 (株)三維／平下様
 浜田 (有)靴のまつむら・創業者／松村様
 益田 (有)アルソアおおたに・創業者／大谷様 他／個人の方々

2 家族の絆を深める

また、継伝を制作すると、様々な人間ドラマが表に現れます。第三者がインタビュアーとして間に入る事によって、親子同士で知らなった想いや体験が浮き彫りになるのです。

親子というのは、親子だからこそ心根の部分まではなかなか伝わらないものです。核家族化とサラリーマン化によって、世代間でのふれあう機会が減っている現代においては特にそうなのかもしれません。

しかし実は、その隠れた心根の部分を知り合う事は、お互いの感情に変化をもたらし、そこから思いやりや感謝といった大切な心を育むことにつながります。

“継伝”は、こういった家族間の隠れた想いを引き出し、つなげる事によって、そこに新たな絆を作り出す役割も担っています。



これまで取組が紹介されたメディア

読売新聞、山陰経済ウイークリー、島根日日新聞、いわみりびえーる、銀山テレビの番組「Jチャンネル」

継伝相談会事前申込書

FAX 0854-84-8811

ふりがな 氏名	性別 男・女	年齢 歳
〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 住 所		
T E L	F A X	
ご相談内容	ご来場予定時間 時 分頃	

お申し込みいただいた方へ、受付確認のご連絡をいたします。※個人情報は申込者への回答や連絡の目的以外では使用いたしません。※個人情報を第三者に提供する事はいたしません。